



## ～1学期中間考査が終わりました!～

高校になって初めての中間考査が終了しました。直後に拍手が起こったクラスもあったそうです。それだけ真剣に取り組んだ証拠ですね。

部活動が休みになる考査1週間前の5月14日から、「中間考査前学習会」と称して放課後16:10から17:25まで各教室で集中して学習する毎日をご過ごしました。自由参加でしたが、各クラスともかなり多くの方が机に向かって集中していました。また、とくに数学の先生に質問する姿や、友達同士で教え合う様子も見られ、さすが「やるときはやる!」の太女生でした。並行して1日の学習時間を記録してもらっていましたが、平均時間が毎日更新しているクラスもありました。お互いに刺激し合い励まし合って良い雰囲気が出ていました。この前向きな雰囲気を今後も授業等で作っていきましょう。

さて、これから答案が返されます。単純に「できた」「できなかった」で終わらせては、せっかく集中できた経験が生かせません。振り返りをしましょう。

「試験を終えての自分なりの感触を次から選んでください。」

- (1) まあまあだった
- (2) あせってケアレスミスが多かった
- (3) できなかった

### ●(1) を回答した人へ(2パターンの可能性あり)

①自分の中で予習・授業・復習の学習サイクルがある程度できていて、試験前も納得できる準備ができた人は、このペースを続けてください。

②たいして準備をしないが……と思った人。あなたは、まだ中学時代の学力貯金で凌いでいるだけです!今のままの学習スタイルでいると、徐々に厳しくなり、やがて、まったくできなくなりますよ。(1年1学期が一番成績が良かった……。なんて、よくある話です。)

### ●(2) を回答した人へ

○問題の量も難易度も中学とは段違い!

「読む・書く・計算する・考える」ことの速さと正確さが足りない!

そんなことに気がついたのでは?

「ほぼ理解した」のレベルから「自力で解ける・表現できる」のレベルに上げることです。

中学までは、知識の暗記だけでどうにかかりました

しかし、高校では、

身につけた「知識を組み合わせる。」「知識から新しいことを類推する。」

の訓練

=知識の活用に重きを置いていること

に気がついて、学習法を工夫していきましょう。

●(3) を回答した人へ(2パターンの可能性あり)

①予習・授業・復習の学習サイクルができていない。試験前の準備不足。

これらに該当する人は、今回の経験を生かして、取組方法を修正してください。

②自分なりに準備したのに、できなかった人

勉強の仕方そのものに問題がある可能性があります。

⇒この②に該当すると思う人は、HR担任(含む副担)・教科担任等に相談に行きましょう

(この状態は放置しておいてもほとんど改善は見込めません)。もしかすると、本人は②と  
思っているが、実は①だったりする場合もあるかもしれません！

次の期末考査までは試験問題の予想ができるように授業に臨みましょう！

新しく出た知識や、これからも何度も出てくるであろう技能、普遍的な考え方、特別な思考法、  
…。授業にしっかりと参加していると、授業者がその部分を必ず強調していることがわかります。  
繰り返し説明しているはずですが。試験で先生は、ここを出したいんだな(出すんだらうな)？  
と思いつつ授業を受けるだけでも、授業への参加する姿勢は変わりますよ。

再び勉強と部活動の毎日が始まります。生活リズムを整えて、1日1日を大切に過ごしましょ  
う。

とりあえず

得意なものを伸ばしつつ、苦手なことを少しでも克服していく。

⇒「自らの(小さな)成長の実感」

できなかったことができるようになった。新たな発見があった。

⇒「知的好奇心」

を大切にしてください。